

PRESS RELEASE

## 「XTURISMO Limited Edition」、 北米国際デトロイトモーターショーにて 機体展示と飛行パフォーマンスを実施

2022年10月06日

株式会社 A.L.I. Technologies

株式会社 A.L.I. Technologies（本社：東京都港区；代表者：片野大輔；以下 A.L.I.）は、米国デトロイトにて開催されたイベント「国際デトロイトモーターショー（北米国際自動車ショー）」にてラグジュアリーエアークルーザーの XTURISMO Limited Edition を出展いたしました。本イベントでは、A.L.I.の米国法人 AERWINS Technologies Inc.（ミシガン州、以下「AERWINS」）の Chairman & CEO の小松周平によるプレゼンテーションや、フライトパフォーマンス、メディア関係者向けの試乗体験が行われました。

米国での XTURISMO Limited Edition のお披露目は、今回のデトロイトでのイベントが初となります。

XTURISMO は、空間を自由に移動できる楽しさや喜びを感じ、今までにない新しい体験を創出することを目指したエアモビリティです。災害救助やインフラ点検、エンターテインメントでの活用など幅広い実用の可能性を秘めています。

また、A.L.I.のドローン事業にて開発を進めている管制システム「C.O.S.M.O.S.」の導入も予定。ドローンだけではなく eVTOL などの低空域の航空機の一元管理も可能な機能を実装することで、空のインフラ構築をより多角的な側面から実現に近づけてまいります。

AERWINS CEO の小松はプレゼンテーションにて、次のように述べました。

「我々は、“エアモビリティ・エコ・サイ・システム”のリーディングカンパニーになるというビジョンを掲げています。ハードウェア、ソフトウェア、サービスなど総合的な事業アプローチを展開することで、エアモビリティ業界で唯一無二の存在となることを目指します。」



会場には、多くのメディアやゲストに試乗していただきました。

#### ■北米国際デトロイトモーターショー概要



日時：2022年9月14（水）～25（日）

場所：ミシガン州、デトロイト市、ハンティントンプレイス

主催者：北米国際モーターショー

詳細はこちら：<https://ali.jp/2022/08/16/10801/>

<XTURISMO に関する情報>

公式サイト：<https://aerwins.us/xturismo/>

映像：<https://www.youtube.com/channel/UCPP6jQKTqCRXpAmyfZ-94VQ>

Instagram：[https://www.instagram.com/xturismo\\_official/](https://www.instagram.com/xturismo_official/)

お問い合わせ：[xturismo@ali.jp](mailto:xturismo@ali.jp)

<株式会社 A.L.I. Technologies>

A.L.I. Technologies は、「空中域（地面と空のあいだ、人の生活範囲の空中）から社会の仕組みを変えていく」をスローガンに、エアモビリティプラットフォームとなる管制アプリケーション「C.O.S.M.O.S.」、実用型ホバーバイク「XTURISMO」を展開しています。

A.L.I. Technologies は、既存の発想に捉われず、エアモビリティ（有人・無人）社会の実現に必要なシステムをグローバルに発信する日本発のスタートアップ企業として、イノベーションを起こし続けてまいります。

公式サイト：<https://ali.jp/>

問い合わせ（広報担当）：[info@ali.jp](mailto:info@ali.jp)

## ■免責事項

本プレスリリースには、将来予想に関する記述が含まれています。当該将来予想に関する記述は、多くの事象やコンディションの影響を受け、その多くは A.L.I が制御できないものです。A.L.I は、当該将来予想に関する記述は合理的であると考えていますが、本リリースの日付時点で A.L.I が入手した情報に基づいて示されている将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。当該将来予想に関する記述は、現時点における予測および仮定に基づくものであり、様々なリスクおよび不確実性が内在しています。実際の結果は、大きく異なる可能性があります。A.L.I は、法令に定める場合を除き、本リリースの発表日以降、新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を負いません。